

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (746), 課コード (0604), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Detailed project information including purpose, content, budget, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	747	課コード	0604	会計種別	公共下水道事業特別会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	-------------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 柴崎排水区整備事業	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・治水課			
	③事業主体	個別事業 北新田堤外排水路の改修	④対象地区		<input type="checkbox"/> 我孫子 <input checked="" type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成28年度～平成29年度		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.55人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	680,000千円		当該(開始)年度	(当初)	48,440千円 (うち人件費 4,840千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ (計画名)	都市排水路施設の整備
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	柴崎地区の浸水被害を軽減させる。					
(3) 事業内容	内容	現在の柴崎排水区の内水排除対策は、堤外に排水する暫定ポンプや暫定調整池に対応しているが、下流部は、高台に囲まれた地形であり、北新田堤外排水路、後田樋管や市街地の幹線排水路の排水能力不足に起因し、浸水被害が常襲的に頻発している。抜本的な内水排除対策は、最下流となる北新田堤外排水路改修、後田樋管築造や幹線整備としている。このことから、最下流となる北新田堤外排水路改修を行う。			当該年度執行計画	水路改修工事 (5/5) (9月～3月) 排水路改修工事 (11月～3月)					
		当該年度活動結果指標	水路改修工事の完了		単位	m	想定値	28			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該(開始)年度	北新田堤外排水路改修工事を完了させる			直接	排水路工事の進捗率 (施工済延長/施工予定延長738m)		%	96	100		
3年後	事業実施により柴崎排水区最下流部の整備の完了			直接	排水路工事の進捗率 (施工済延長/施工予定延長738m)		%	96	100		
最終(概ね5年後)	事業実施により柴崎排水区最下流部の整備の完了			直接	排水路工事の進捗率 (施工済延長/施工予定延長738m)		%	96	100		
(7) 事業実施上の課題と対応	堤・樋管改修や北新田堤外排水路改修は、国河川事業と一体となった事業展開が必要であり、多種多様な関係機関 (国・県・改良区等) との協議が必要である。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	水路改修工事 (4/5)	91,000	*	水路改修工事 (5/5) (補助対象)	33,400				
		*	付帯工事	18,200	*	付帯工事	6,700				
		*	設計単価特別調査	800	*	排水路改修工事	3,000				
					*	設計単価特別調査	500				
		予算(済)額	合計	110,000	合計	43,600	合計	0	合計	0	
		国庫支出金	補助率	50%	30,000	補助率	50%	16,700	補助率	0%	0
		県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
		起債	充当率	100%	60,900	充当率	100%	16,600	充当率	0%	0
一般財源		0			0			0			
その他の財源	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	19,100	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	10,300	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0			
換算人数(人)		0.75		0.55		0		0			
正職員人件費		6,600		4,840		0		0			
嘱託職員報酬額		0		0		0		0			
臨時職員賃金額		0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		116,600		48,440		0		0			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		1,240.43千円/m		1,730千円/m							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)	現在の柴崎排水区の内水排除対策は、堤外に排水する暫定ポンプや暫定調整池に対応しているが、下流部は、高台に囲まれた地形であり、北新田堤外排水路、後田樋管や市街地の幹線排水路の排水能力不足に起因し、浸水被害が常襲的に頻発している。抜本的な内水排除対策は、最下流となる北新田堤外排水路改修、後田樋管築造や幹線整備としている。このことから、最下流となる北新田堤外排水路改修を行う。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か?	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	96	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか?	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	<超過理由等>		○要 ○不要
	事業費削減率 (%)		<削減の内容> 国庫補助の活用						
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	8.26	単位 費用単位	○①単年度の指標: 目標値 × 費用単位 / 事業費 ●②複数年度の指標: (目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100			○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (749), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Footer table with columns: 評価, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (750), 課コード (0604), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要(PLAN)) including project name, objectives, budget, and implementation details.

Evaluation table (2. 事業の評価(DO+CHECK)) with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

Post-evaluation table (3. 事後評価) with options for progress, expansion, contraction, etc.

Final evaluation table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード 751 課コード 0604 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向, 事業目的
(3) 事業内容: 内容, 当該年度執行計画
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5) 現況値, (6) 目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討
(8) 施行事項: 実施内容費用, 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度, 平成31年度
(9) 財源内訳: 国庫支出金, 県支出金, 起債, 一般財源, その他の財源
(10) 人件費等: 換算人数(人), 正職員人件費, 嘱託職員報酬額, 臨時職員賃金額
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標): 35.2千円/件, 88千円/件

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
参加・協働の工夫: 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
環境への配慮: 環境に配慮して事業を進めているか?
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	752	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	雨水貯留タンクの設置補助		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・治水課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.15人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	2,320千円		当該(開始)年度	(当初)	2,320千円 (うち人件費 1,320千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62402	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害の軽減を図るため、住宅などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透ますや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進を図ります。			事業目的	雨水貯留タンク設置者への補助制度により設置を促進する事で、雨水の流出を抑制し浸水被害の起こりにくいまちへの意識向上を図る。						
(3) 事業内容	内容	雨水貯留タンク設置予定者からの申請を審査し、設置後に検査を行って補助金を交付する。			当該年度執行計画	申請を審査し、設置後に検査を行って補助金を交付する。						
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	基	想定値	35	
当該(開始)年度	我孫子市雨水貯留タンク設置補助金交付要綱の周知を図り、雨水貯留タンクの設置を促進する。	直接	雨水貯留タンクの累積設置基数		基	571				(5) 現況値	606	
3年後	我孫子市雨水貯留タンク設置補助金交付要綱の周知を図り、雨水貯留タンクの設置を促進する。	直接	雨水貯留タンクの累積設置基数		基	571				(6) 目標値	676	
最終(概ね5年後)	我孫子市雨水貯留タンク設置補助金交付要綱の周知を図り、雨水貯留タンクの設置を促進する。	直接	雨水貯留タンクの累積設置基数		基	571					746	
(7) 事業実施上の課題と対応	助金制度の周知は、進んでいない状況がある。広報及びホームページ等によるPR活動を継続して実施すると共に、他の周知方法を検討の上で積極的な周知活動に努める。	代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度			平成30年度			平成31年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			雨水貯留タンク設置補助金 * 雨水貯留タンク設置補助金(9月補正)	1,000 690		雨水貯留タンク設置補助金	1,000			雨水貯留タンク設置補助金	1,000	1,000
		予算(済)額	合計	1,690	合計	1,000	合計	1,000	合計	1,000		
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
		一般財源		1,690		1,000		1,000		1,000		
		その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
		換算人数(人)		0.2		0.15		0.15		0.15		
正職員人件費		1,760		1,320		1,320		1,320				
嘱託職員報酬額		0		0		0		0				
臨時職員賃金額		0		0		0		0				
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		3,450		2,320		2,320		2,320				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		61.61千円/基		66.29千円/基								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	近年多発傾向にあるゲリラ豪雨を含めた総合的な水害対策の一環として、雨水流出抑制の効果がある雨水貯留タンクの設置を促進し普及に努める。普及が進むことにより、都市型水害の軽減及び雨水の再利用に対する市民意識の向上が図れる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(基)	目標値(b)(基)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		対目標値(%)		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント				改善策及び展開方向				

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (753), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, 30, and 31.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a progress status row (現状どおり推進, etc.) and a comment field.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (755), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, budget, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード 756 課コード 0604 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 市街地での浸水被害を軽減するため...
(3) 事業内容: 排水施設周辺の環境を保全するために...
(4) 達成目標 (期待する成果): 市民生活の安全と流水断面の確保...
(7) 事業実施上の課題と対応: 市民の要望・苦情に対し...
(8) 施行事項: 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度, 平成31年度
(9) 財源内訳: 国庫支出金, 県支出金, 起債, 一般財源
(10) 人件費等: 換算人数, 正職員人件費, 嘱託職員報酬額, 臨時職員賃金額
(11) 単位費用: 23,148千円/回

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (757), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 (基本事業/個別事業), ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向
(3) 事業内容: 内容
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5) 現況値, (6) 目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

Summary table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (758), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Detailed project information including purpose, content, budget, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	759	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	管理用地境界の確定業務		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	建設部・治水課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.25人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	2,791千円		当該(開始)年度	(当初)	2,791千円 (うち人件費 2,200千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整地などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	境界確定申請箇所の官・民境界の確定							
(3) 事業内容	内容	市と申請人、代理人(測量士等)及び関係地権者と共に申請箇所の境界立会を行い、境界同意を得、境界標の設置、確定図の作成。			当該年度執行計画	境界確定の申請に応じ、境界確定をおこなう。(随時)水路境界杭の購入(4月)							
		当該年度活動結果指標	境界確定率(境界確定件数/申請件数)	単位	%	想定値	100	実績値					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該(開始)年度	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。				直接	境界確定率(境界確定件数/申請件数)	%	0	100				
3年後	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。				直接	境界確定率(境界確定件数/申請件数)	%	0	100				
最終(概ね5年後)	境界同意を得る。境界標の設置。境界確定図の作成。				直接	境界確定率(境界確定件数/申請件数)	%	0	100				
(7) 事業実施上の課題と対応	関係地権者の境界への疑問や不満に対し、分かりやすい説明を行う。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
			境界確定業務	500		境界確定業務 水路境界杭購入費	500 91		境界確定業務	500		境界確定業務	500
		予算(済)額	合計	500	合計	591	合計	500	合計	500			
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0					
一般財源		500		591		500		500					
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0					
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.2		0.25		0.25		0.25					
	正職員人件費	1,760		2,200		2,200		2,200					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	2,260		2,791		2,700		2,700					
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	22.6千円/%		27.91千円/%									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	申請者のさまざまな理由により境界確定の申請がある。また、公共用地を適切に管理するためにも境界確定は必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	3.58	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (760), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 28, 29, and 30.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for '現状どおり推進' and a row for '評価コメント'.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (761), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要(PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial and execution data.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価(DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 目標達成.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価 and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (764), 課コード (0604), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (1537), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion direction).

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (1541), 課コード (0604), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (1568), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等, ⑪単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (1781), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	1872	課コード	0604	会計種別	公共下水道事業特別会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	-------------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 柴崎排水区整備事業	個別事業 柴崎排水区の整備（後田樋管整備事業）		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	建設部・治水課			
	③事業主体	●市 ○その他（ ）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input checked="" type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成28年度～平成30年度			⑥担当職員数	7人（換算人数）		0.75人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	480,000千円		当該（開始）年度	（当初）	180,604千円	（うち人件費）	6,600千円			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無		部門別計画への位置づけ	（計画名）		
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	柴崎地区の浸水被害を軽減させる						
(3) 事業内容	内容	現在の柴崎排水区の内水排除対策は、堤外に排水する暫定ポンプや暫定調整池に対応しているが、下流部は、高台に囲まれた地形であり、北新田堤外排水路、後田樋管や市街地の幹線排水路の排水能力不足に起因し、浸水被害が常襲的に頻発している。抜本的な内水排除対策は、最下流となる北新田堤外排水路改修、後田樋管築造や幹線整備としている。このことから、最下流となる北新田堤外排水路改修とあわせ後田樋管を築造する。			当該年度執行計画	樋管築造工事（継続費28年～30年）（国交省）(H29.1～H31.3)						
		当該年度活動結果指標	樋管工事の進捗率（3箇年事業の2年目分）	単位	%	想定値	45	実績値				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該（開始）年度	樋管工事の進捗率（国土交通省への業務委託）				直接	樋管築造工事の進捗率		%	0	75		
3年後	樋管を完成させる。（国土交通省への業務委託）				直接	樋管築造工事の進捗率		%	0	100		
最終（概ね5年後）	樋管を完成させる。				直接	樋管築造工事の進捗率		%	0	100		
(7) 事業実施上の課題と対応	樋管築造は、国河川事業と一体となった事業展開が必要であり、国が行う周囲堤改修と合せ国への委託工事としたため、多種多様な関係機関（国・県・改良区等）との協議や実施方針の確立が不可欠である。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		*	樋管工事（国交省への業務委託）（3ヶ年の1年目）	104,400	*	樋管工事負担金（国交省施工協定）（継続費28年～30年）（補助対象）	174,000	*	樋管工事負担金（国交省施工協定）（継続費28年～30年）（補助対象）	115,700		
		*	雨水幹線実施設計（樋管接続部）（繰越）	8,856	*	樋管工事負担金（繰越）	4					
		*	用地測量（樋管部）（繰越）	2,052								
予算（済）額	合計		118,144	合計		174,004	合計		115,700	合計	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	40,000	補助率	50%	87,000	補助率	50%	27,800	補助率	0%
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
	起債	充当率	100%	64,200	充当率	100%	86,800	充当率	100%	27,800	充当率	0%
	一般財源			0			0			0		
その他の財源	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他		13,944	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他		204	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他		60,100	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.95		0.75		0.75		0				
	正職員人件費	8,360		6,600		6,600		0				
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
	臨時職員賃金額	0		0		0		0				
事業費（予算（済）額+正職員人件費）	126,504		180,604		122,300		0					
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	486,553.85千円/箇所		4,013.42千円/％									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	現在の柴崎排水区の内水排除対策は、堤外に排水する暫定ポンプや暫定調整池に対応しているが、下流部は、高台に囲まれた地形であり、北新田堤外排水路、後田樋管や市街地の幹線排水路の排水能力不足に起因し、浸水被害が常襲的に頻発している。抜本的な内水排除対策は、最下流となる北新田堤外排水路改修、後田樋管築造や幹線整備としている。このことから、最下流となる北新田堤外排水路改修とあわせ後田樋管を築造する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	75	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(%) 達成率(%) (f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	41.53	単位 費用単位 %	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (1976), 課コード (0604), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and improvement directions.

Final summary table with columns: 評価 (Evaluation), 評価コメント (Evaluation Comments), 改善策及び展開方向 (Improvement and Development Directions)

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (2162), 課コード (0604), 会計種別 (公共下水道事業特別会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for performance metrics, budget, and impact.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for project status and future directions.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	2164	課コード	0604	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □經常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	雨水排水施設台帳の整備		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	建設部・治水課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	平成28年度 ~			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.7人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	160,000千円		当該(開始)年度	(当初)	37,538千円 (うち人件費 6,160千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整地などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。			事業目的	雨水排水施設台帳のシステム化を行い、計画的な改築・更新・維持管理を行う。							
(3) 事業内容	内容	下水道事業公営企業会計への移行に伴い、下水道台帳管理システム・固定資産台帳システムが導入されることから、雨水排水施設についても市内の既存施設の調査を行い、雨水排水施設台帳システムを構築することにより計画的な改築・更新・維持管理を行います。			当該年度執行計画	雨水排水施設調査(天王台地区) (8月~3月)							
		当該年度活動結果指標	雨水排水施設の調査の進捗率	単位	%	想定値	37		実績値				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該(開始)年度	天王台地区の雨水排水施設の調査を完了させる				直接	雨水排水施設の調査の進捗率		%	0	37			
3年後	布佐地区までの雨水排水施設の調査を完了させる				直接	雨水排水施設の調査の進捗率		%	0	100			
最終(概ね5年後)	市全域の雨水排水施設の調査を完了させ、雨水排水施設台帳を完成させる				直接	雨水排水施設の調査の進捗率		%	0	100			
(7) 事業実施上の課題と対応	台帳システム導入のためには既存雨水排水施設及び法定外公共物の把握が必要不可欠であるが、市内全域の調査は複数年に渡り調査を行う必要がある。そのため、台帳システム構築と並行して調査を行い、順次台帳システムに反映させていく。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		*	雨水台帳基本設計	700	*	雨水排水施設調査(天王台地区)	13,800	*	台帳システム導入	28,000	*	雨水排水施設調査(布佐地区)	18,000
		*	雨水排水施設調査(我孫子地区)	17,300	*	雨水排水施設調査(我孫子地区)(繰越)	17,578	*	雨水排水施設調査(湖北・新木地区)	25,000			
		合計	18,000	合計	31,378	合計	53,000	合計	18,000				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0			
	一般財源		18,000		31,378		53,000		18,000				
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.65		0.7		0.7		0.7					
	正職員人件費	5,720		6,160		6,160		6,160					
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0					
	臨時職員賃金額	0		0		0		0					
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	23,720		37,538		59,160		24,160					
(11) 単位費用	1,694.29千円/%		1,014.54千円/%										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	下水道事業公営企業会計への移行に伴い、雨水排水施設台帳のシステム化を併せて行うことにより、より安価にシステム化を行うことができる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成				
	0	37	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
△58.25										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	9.86	単位	費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				
			%		1000万円					

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					